



向陵だより

相手意識をもち、自他を大切にす向陵っ子の育成
～あなたも わたしも みんな たいせつ～

～「安全・安心で元気な学校」づくりのために～

令和8年 4月30日(木)



「根開け」が進むように

校長 加藤 晴久

暖かな日差しとともに着実な春の訪れが感じられる季節となり、新しい年度が始まりました。

4月に着任いたしました校長の加藤晴久です。どうぞよろしくをお願いします。

私が向陵小に着任した4月1日には、グラウンドにはまだ雪が多く残っており、校舎周辺にある樹木を見てみると、木の幹の周りの雪が先に解けている「根開け」が見られました。みなさんも見たことがあると思いますが、なぜ、木の周りから雪が解ける「根開け」が起きるのでしょうか。

①木が太陽の光で暖められるから。②木の皮を伝って雨や雪解け水が落ちるから。③暖かい風が木に当たるから。④木の周りには雪があまり積もらないから。⑤木が根っこから温かい水を吸い上げるから。などと言われています。

この「根開け」は、新年度の子どもたちと似ていると思います。木が温かい水を吸い上げたり暖かい光のエネルギーを吸収したりして、新芽を膨らませるように、子どもたちも新しい学年の勉強を頑張ろうとするやる気を膨らませます。しかし、新しい友達や先生との間には、まだ雪が残っています。一日一日、「根開け」の穴が大きくなり、近くの木と「根開け」の円がつながります。同じように、子どもたちも友達や先生方とつながって、楽しく一緒に勉強したり遊んだりできることでしょう。

今年の旭川は雪解けが例年より早く、根開けもすっかりと済んでいます。向陵小の子どもたちも一つ学年が進みましたが、新しい環境にもすっかり馴染んで根開けが済んでいるようです。今年度、4名の教職員が向陵小に着任いたしました。新しい職場というのはいつも緊張するものです。我々教職員も子どもたちに負けないように「根開け」を進め、子どもたちはもちろん、保護者や地域の方々との親交を深められることを願っております。

最後に、お子様の成長には学校、家庭、地域の連携が欠かせません。互いに連携を密にして学校の教育活動を推進していきたいと願っております。ご支援ご協力、どうぞ宜しくお願いいたします。

1年生を迎える会

27日(月)、「1年生を迎える会」がありました。学年毎に作ったクイズを共に楽しむなど、2年生以上と共に笑顔で過ごしました。会の最後には1年生が校歌を披露。みんなから拍手を受けて心の距離を縮めていました。

前期児童会認証式

27日(月)、児童会会長・委員長の認証式が行われました。きりっとした表情で認証状を受け取る姿からは、責任感とやる気が伝わってきました。全校児童の先頭に立ち、より良い学校づくりに力を発揮してくれることを期待しています。

